

第9回俳句コンテスト 優秀句が決定！

黛まどかさんが選ぶ、第9回葛巻町風と恋の俳句コンテストの結果が発表され、岩手日報社賞に入月静子さん（橋場）が選ばれたほか、奨励賞は6人、町民特別賞に12人が選ばれました。なお、10月31日に行われた表彰式と吟行会の様子は、12月号でご紹介します。主な入賞作品は次のとおりです。

最優秀賞

風 月山を下りて植田の風となる 小海 一郎（東京都）
恋 口止めのラムネの味や姉の恋 川村 由紀（宮城県）

優秀賞

風 風吹けば一日風の野菊かな 中嶋 忠輝（盛岡市）
恋 逢ふための闇深くして恋虫 松野 めぐみ（神奈川県）
恋 恋に生き恋に果てたる単衣かな 小原 あつ子（愛知県）
恋 古の恋歌一つ春の野辺 山地 美智子（兵庫県）

岩手日報社賞

風 裏口に夫の連れ来る青田風 入月 静子（橋場）
恋 妻の手をまあるく包む秋日和 佐藤 晃（奥州市）

奨励賞（町関係者のみ掲載）

風 ささぶねは風におされてたびに出る 大崎 琴弓（五日市小2年）
恋 夏祭りにボールがのってホームラン 橋 佳穂（江刈中2年）
恋 ハンカチをかしてあの子と指がふれ 里見 脩太郎（江刈中3年）
恋 プランコの君と二人で息合わす 横山 堯希（葛巻小5年）
恋 夏祭り君を見つけてしらんぶり 常谷 和弘（葛巻小6年）
恋 夕焼けに二つならんだかげぼうし 馬淵 遥（葛巻小6年）
恋 星野 光亮（葛巻中3年）

北部が中部Aと並び首位に

町民総合体育大会中期競技

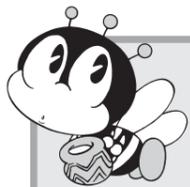
町民総合体育大会の中期競技は、10月3日（日）町総合運動公園で開催されました。この日はティーボール、ペタンク、グラウンドゴルフの3つの競技が行われ、各地区から集まった選手ら約300人が、さわやかな汗を流しました。総合体育大会は中期競技を終えた現在、2種目で1位を獲得した北部が、中部Aと並んで首位に立っています。なお、得点の詳細は下の表のとおりです。



寒空のもと集中してプレーする選手たち（ペタンク）

第26回葛巻町民総合体育大会得点表

種目	江刈A	江刈B	中部A	中部B	西部	北部
前期計	20	22	26	12	22	24
ティーボール	10	4	8	6	2	12
ペタンク	12	4	8	4	6	12
グラウンドゴルフ	8	2	12	10	4	6
合計	50	32	54	32	34	54
順位	3位	5位	1位	5位	4位	1位



まなびい 掲示板

生涯学習標語コンテスト 作品募集

募集期間 平成22年11月1日（月）～平成23年1月31日（月）
応募方法 応募用紙1枚につき1作品。用紙は自由で、1人何点でも応募できます。住所（学校名）、氏名、年齢（学年）、電話番号を明記してください。
表彰 最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作8点を入選作とします。
応募先 〒028-5495 教育委員会事務局生涯学習推進室 TEL:66-2111(内線275)FAX:66-4389

葛巻町合併55周年記念

2010いわて太鼓フェスティバル inくずまき 第13回日本太鼓ジュニアコンクール 岩手県予選大会

とき 11月7日（日）午前10:00～（開場午前9:00）
ところ 社会体育館
入場料 前売り券 一般 1,000円
小学生以上高校生以下 500円
当日券 一般 1,200円
小学生以上高校生以下 700円
主催 財団法人日本太鼓連盟岩手県支部 岩手県太鼓連盟

※詳しくは、2010いわて太鼓フェスティバルinくずまき実行委員会事務局（教育委員会内 TEL:66-2111内線276）へ

俳句を楽しもう⑭

葛巻俳句会会員 齋藤誠子さん
今年の「第9回葛巻町「風と恋」俳句コンテスト」には、全国各地さらには外国からも多数の応募がありました。葛巻町は俳句文化を育てている町と認識されつつあります。これまでこのコーナーでは、小中高生の素直な俳句や、コンテストが始まってから俳句を作った年配の方々の作品を紹介して参りました。従って、忙しく働く人たちは俳句を作っていないだろうと思われたら心外です。実は、毎年コツコツと出してくださる方々から、「季語」や俳句について質問を受ける機会が増えました。さて、今回は若い二人の女性の俳句を紹介します。

☆第5回町民特別賞
失恋の 涙くすぐる 花葉風
大川原 百 恵さん（小苗代）

学生の頃を思い出しての俳句でしょうか。本当は悲しい失恋ですが、菜の花を渡る風に、少しなぐさめられたことでしょうか。

☆第4回、第7回町民特別賞
吾子の髪 撫でゆく風の光りけり
夕焼けに 頬染む吾子の 駆けてゆく
遠 藤 香津良さん（城内小路）

幼子の弾む髪が光っている景色、夕焼けの光の中を子どもが駆ける景色、写真のようなワンショットです。何気ない情景ながら、その人にとっては忘れられない一瞬を心のカメラに捕らえる。これも俳句の一面ではないでしょうか。山峡に住む楽しみ、紅葉の美しさを眺めながら一句ひねってみましょう。

黛まどか町民特別賞

恋 山中に風入れている菊日和 長 采 公子（山岸）
百年の風ふきぬけし夏座敷 福 田 信博（四日市）
微かなる風にも乗れず秋螢 高 家 卓範（江刈川）
栗の花雨句はせて塩の道 中 代 きみ江（元町）
縁側で父母待つ子等に稲穂風 石 角 則行（茶屋場）
涼風にみな顔向けて牧の牛 村 木 登（下町）
ふるさとのリンゴの香り届けたし 鳥 居 京子（田の沢）
色ちがひ誰にも秘せり登山帽 遠 藤 とく（田子）
冬ぬくし還暦の会君さがし 服 部 昌二（田代）
山頭火好きな人より初便り 齊 藤 誠子（下町）
山あいの二人を照らす盆の月 遠 藤 登（田子）
たはむれに君の名つける冬の星